



調査対象の一部の施設写真(左:中:国立ヨルダン考古学博物館、右:城跡(THE CITADEL))

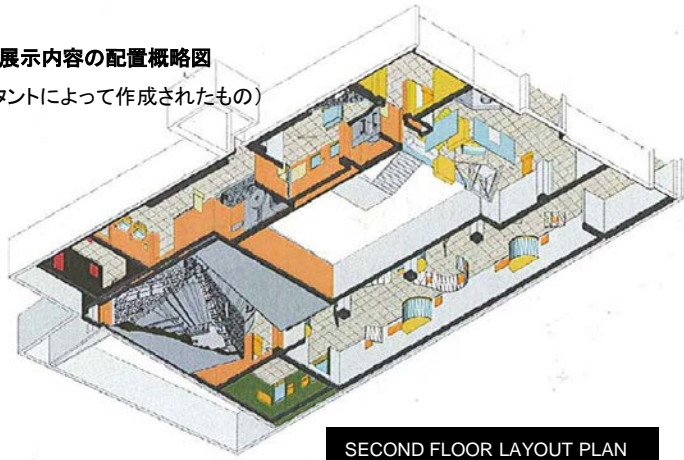
●ヨルダン国の首都アンマンに新たに建設された国立博物館の展示に関するデザインアドバイザーの仕事です。このプロジェクトは、当初は、日本政府によるODA事業の一環としてスタートしました。博物館建設はヨルダン国の観光開発の一部に組み込まれたものです。建設途中の短期間の協力要請でしたが、進めるにあたり、遺跡や既存博物館の調査や各地の整備事業を視察しました。現地アンマンのプロジェクトチーム、JICAの担当者、ヨルダン側のデザイナー等とのミーティングや工程、展示内容の把握、課題の整理、示唆および製作中の工場での指導、アドバイス等を行いました。

建設中の博物館展示内容の配置概略図

(現地プロジェクトコンサルタントによって作成されたもの)



GRAND FLOOR LAYOUT PLAN



SECOND FLOOR LAYOUT PLAN



外観正面



Research work

博物館中央ホールの展示

カイロ市内の国立エジプト博物館の展示品の内容、保存、収集状況等の調査、聞き取り取材、文献通覧が主な内容

+

Analysis work

国際コンペにより選出された建築設計案、および展示概念設計等の資料を分析し、総括・監修・評価業務としてのプロジェクトマネージメントを遂行するための理念、方針、組織、工程、設計監理、運営等の提案報告書を作成する。



上: 展示チームにより作成された展示空間のコンセプトイメージ図

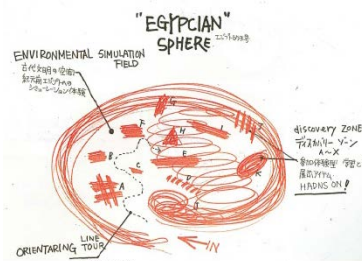
左: 国際建築コンペで選出された大エジプト博物館の外観図

●エジプトのギザの建設予定の大エジプト博物館の国際プロジェクトマネージメントチームを選定するためのプロポーザルの仕事です。2005年から2008年まで2回にわたりエジプト政府文化省考古庁により実施されました。私は、そのチームメンバーとして参画し、文化財および展示関連のコーディネーターの任にあたりました。

チーム編成は日本側マネージメントチームと海外のコンサルタントとの共同組織となりました。仕事内容は、建築から展示・運営まで全体のプロジェクト推進を統括マネージメントを行うためのプログラムづくりです。

数次にわたる現地調査、国内でのデスクワークやミーティング等を重ね、全体のプロポーザル原稿を作成し、エジプト政府に提出することになります。

●エジプト政府に提出するプロポーザル書類には、展示品や文化財の保存修理、展示内容やデザイン、設計図の確認、建設工程や品質管理、施工者の評価や入札などの完成までの全フローの業務についての対応を記載しました。



ラフ概念図(本業務の提案書から抜粋)

